

ゼミ研究活動の紹介

1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

■ 卒論やフィールドワーク

- | | |
|-------------------------|--------------|
| ①アルバイトは使い捨てか？人的資本論から考える | (平成 29 年度予定) |
| ②高校入試制度のあり方に関する考察 | (平成 28 年度) |
| ③就職活動と学生の心的特性の関係 | (平成 27 年度) |
| ④学生の結婚観に関する調査 | (平成 26 年度) |
| ⑤大学生の学習意欲に関する調査 | (平成 25 年度以前) |

■ ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

2017年度の3年のゼミでは、『アイデンティティ経済学』（アカロフ、クラントン著）と『人的資本』（ベッカー著）を輪読している。研究のテーマは、「アルバイトは使い捨てか？」という仮説のもとに、訓練期間、時給、およびアルバイトを辞める/辞めない要因、学校教育の有無などに関して、アンケート調査を行う。

4年のゼミでは、昨年度の取組の継続として、日本の高校入試制度に関する研究を行う。昨年度の学習から、現行の入試制度では必ずしも学校と学生のマッチングがうまくいっていないケースがあることが分かった。今年は、現行の高校入試制度の歴史的経緯を踏まえた上で、学生の評価の仕方や、どの評価方法が学生に与えている学習インセンティブについて問題がないかをアンケート調査によって調べる。さらに、学生の心的特性と高校選択の間にどのような関係があるかについても調べる。

2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

- ・年度末に3年と4年で合同発表会を行います。
 - ・2018年の10月か11月に、実験社会経済学カンファレンス*を主催することになりました。その受付等のアルバイトをお願いします。（皆さんが研究発表することはありませんのでご心配なく）
- *実験社会経済学カンファレンスは実験経済学者と社会心理学者が共同で研究発表を行う場です。
- ・経済学だけではなく心理学にも興味のある学生さんは、是非濱口ゼミにご応募ください。